

発 言 通 告 書

令和 8 年 9 月 10 日

松山市議会議員 大 塚 啓 史 殿

松山市議会議員 小 崎 愛 子

次のとおり通告します。

発言順位	20	受領日時	9 月 10 日 午前・午後 11 時 55 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		・ 一括方式	発言時間 約 30 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	防災・減災・災害への備えについて	(1) 防災出前講座で寄せられた意見の特徴とその後改善した事例について問う。 (2) 防災対策の推進と実効性並びに本市の現状と改善点について ①避難所での食事や入浴はどのように行うのか。 ②物資を備蓄している場所が被災した場合、周辺からの支援はどのように考えているか問う。 ③市立小・中学校体育館の空調整備時期を前倒しすることについて本市の見解を問う。 ④今回の木造住宅耐震改修等補助事業では、何件の補助を想定しているのか。 また、耐震基準を満たさない木造住宅への改修補助の実績と今後の事業方針について問う。 (3) 避難所運営マニュアルでの具体的対応について ①在宅避難者や車中泊避難者への支援は、どのように行うのか問う。 ②介護保険施設が断水・停電した場合や命の危険がある事態における受入れ可能な施設等への移動は、どのように行うのか問う。
2	生活保護行政について	(1) 本年 6 月 26 日の高松高裁の判決を本市はどのように受け止めているのか問う。 (2) 昨年 6 月 27 日の最高裁判決を受けた保護費の追加給付について ①追加給付の趣旨の理解及び原告と原告以外で給付額に差が設けられていることについて、生活保護法第 2 条との関係をどのように考えているか本市の見解を問う。 ②受給中の方に追加給付の背景や趣旨の説明を具体的にどのように行っているのか。 また、給付対象世帯数と給付を実施した世帯数を問う。 さらに、給付対象の廃止世帯数とそのうち既に申請された世帯数を

